



## プレスリリース

令和3年12月14日 14:00

府政記者会 会員各位  
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位  
枚方記者クラブ 会員各位

鳥獣被害対策の研究に取り組む幸田主任研究員が  
「農林水産省農林水産技術会議会長賞」を受賞！



農林水産省令和3年度（第17回）「若手農林水産研究者表彰」において、生物多様性センター幸田良介主任研究員が、近年増加傾向にある鳥獣被害問題の解決に資する功績を認められ、「農林水産省農林水産技術会議会長賞」を受賞しました！

### ●受賞概要

#### 【受賞者】

環境研究部 自然環境グループ 幸田 良介（こうだ りょうすけ）主任研究員

#### 【業績名】

鳥獣被害強度の変動パターンの解明と施策応用に関する研究

#### 【業績概要】

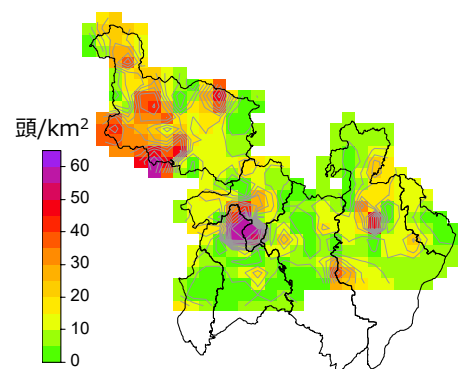
シカの生息密度推定法「糞塊除去法」を開発し、多地点比較解析を可能とすることで、シカ密度増加に伴う被害強度の変動パターンを解明するとともに、シカ管理計画における目標密度を提示するなど、実際の施策応用に発展させた。

### ○どのような研究内容が評価されたの？

- 大阪におけるシカの分布を高精度で推定可能にしました（右図）。
- シカの生息密度をどれだけにすれば、農業被害を低減することができるかを明らかにしました。（生息密度が10頭/km<sup>2</sup>を超えないようにすることが目標）

### ○研究成果はどのように活用できる？

- 科学的な根拠に基づいたシカ管理目標の設定が可能となります。
- 高い密度でシカが生息する地域を狙って捕獲等を行うことで効率的な対策が可能になります。

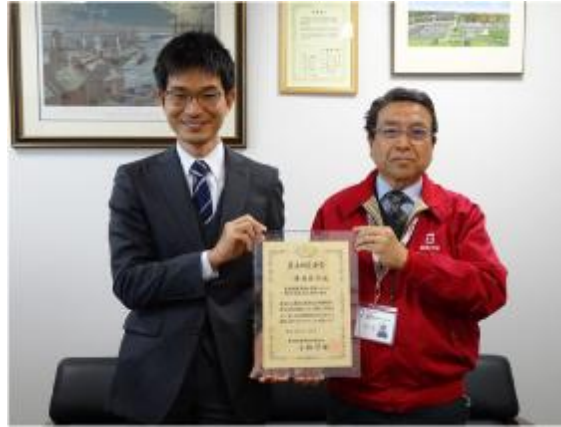


大阪府北摂地域におけるシカの生息密度分布（2020年）

## ○今後の展望は？

➤ 捕獲だけではなく、被害防除や生息環境管理を含む、「総合的な被害対策」への転換を進め、鳥獣被害問題の解決に向けて取り組んでいきます。

○研究内容の詳細は生物多様性センターまでお問合せください。



所内受賞報告会にて  
左：幸田良介 主任研究員  
右：石井実 理事長

### 「農林水産省若手農林水産研究者表彰」とは

#### 1 表彰制度の概要

##### (1) 主旨

本表彰は、農林水産業及び関連産業に関する研究開発の一層の発展及び研究開発に従事する若手研究者の一層の意欲向上に資するため、優れた功績又は将来の技術革新等につながる優れた研究業績があり、その将来が大きく期待される若手研究者に対して、農林水産省農林水産技術会議会長賞を授与するものである。

##### (2) 表彰の対象者

原則として当該表彰が行われる年度の4月1日時点において40歳未満であり、かつ、農林水産業及び関連産業に関する研究開発の業務に従事する個人（国立研究開発法人、大学、都道府県、民間等の研究者）であって、さらに次の各号のいずれかに該当する者。

① 農林水産業及び関連産業の研究開発に優れた功績があり、その将来に大きな期待がされる者。

② 農林水産業及び関連産業の研究開発の業務において、将来の技術革新等につながる優れた研究業績があり、その将来が大きく期待がされる者。

##### (3) 表彰数

農林水産技術会議会長賞 5件。

農林水産技術会議 HP より抜粋